

福島県木造住宅耐震診断（一般診断法）実施要領（平成 22 年 5 月 10 日）新旧対照表

改正	現行
<p style="text-align: center;">福島県木造住宅耐震診断（一般診断法）実施要領</p> <p style="text-align: right;">平成 22 年 5 月 10 日 制定 令和 4 年 8 月 3 0 日 改正</p> <p>第 1 章 総則</p> <p>第 1 条～第 7 条 （省略）</p> <p>（現地調査）</p> <p>第 8 条 現地調査は、所有者等の立会を求め、次の各号により行<u>い</u>、別紙 1「現地調査要領」に基づき、「現地調査表」（様式 2）を作成<u>す</u>る。</p> <p>ただし、現地の状況及び所有者等の要請により適宜変更することができる。</p> <p>(1) 聞き取り 所有者等から当該住宅の確認申請書等設計図書の有無、建築当時の状況、増改築の履歴及び耐震診断に必要と思われる事項を聞き取り調査する。</p> <p>(2) 敷地調査 敷地の状況、擁壁の状況、ブロック塀の位置、形状及び状況等を調査する。</p> <p>(3) 外部調査 基礎、外壁、屋根及び建具の形状、仕様及び状況等を調査する。</p>	<p style="text-align: center;">福島県木造住宅耐震診断（一般診断法）実施要領</p> <p style="text-align: right;">平成 22 年 5 月 10 日 制定 令和 3 年 4 月 1 日 改正</p> <p>第 1 章 総則</p> <p>第 1 条～第 7 条 （省略）</p> <p>（現地調査）</p> <p>第 8 条 現地調査は、所有者等の立会を求め、次の各号により行<u>うもの</u>とし、別紙 1「現地調査要領」に基づき、「現地調査表」（様式 2）を作成<u>するもの</u>とする。</p> <p>ただし、現地の状況及び所有者等の要請により適宜変更することができる。</p> <p>(1) 聞き取り 所有者等から当該住宅の確認申請書等設計図書の有無、建築当時の状況、増改築の履歴及び耐震診断に必要と思われる事項を聞き取り調査する。</p> <p>(2) 敷地調査 敷地の状況、擁壁の状況、ブロック塀の位置、形状及び状況等を調査する。</p> <p>(3) 外部調査 基礎、外壁、屋根及び建具の形状、仕様及び状況等を調査する。</p>

- (4) 室内調査 柱、壁、筋交いの位置、形状、仕様等を調査する。また、柱、床及び建具の傾き等の状況を調査する。
- (5) 小屋裏調査 天井点検口又は押入等の天井板をはずし、小屋裏及び天井裏から、筋かいの位置と仕様、火打ち梁等床組の仕様及び柱と横架材、筋かい並びに火打ち梁等の接合方法等を調査する。
- (6) 床下調査 床下点検口又は床板等をはずし、床下から基礎の状況、土台の有無、筋かいの位置、仕様、火打ち土台等床組の仕様及び土台と柱、筋交いの接合方法等を調査する。
- (7) 図面作成 所有者等から提供された図面及び外部調査、室内調査等から概略平面図を作成し、壁や筋かいの位置その他耐震診断に必要な事項を書き込む__。

第9条 (省略)

(現状の回復)

第10条 調査により天井板や床板をはずした部分は、調査前の状況に復旧しなければならない。また、調査時に利用した天井点検口や床下点検口を確認するとともに、調査により汚した部分の清掃を__行う__。

(終了時説明)

第11条 調査終了後、「現地調査結果説明書」(様式4)を所有者等へ交付し、概要を説明する。

- (4) 室内調査 柱、壁、筋交いの位置、形状、仕様等を調査する。また、柱、床及び建具の傾き等の状況を調査する。
- (5) 小屋裏調査 天井点検口又は押入等の天井板をはずし、小屋裏及び天井裏から、筋かいの位置と仕様、火打ち梁等床組の仕様及び柱と横架材、筋かい並びに火打ち梁等の接合方法等を調査する。
- (6) 床下調査 床下点検口又は床板等をはずし、床下から基礎の状況、土台の有無、筋かいの位置、仕様、火打ち土台等床組の仕様及び土台と柱、筋交いの接合方法等を調査する。
- (7) 図面作成 所有者等から提供された図面及び外部調査、室内調査等から概略平面図を作成し、壁や筋かいの位置その他耐震診断に必要な事項を書き込むものとする。

第9条 (省略)

(現状の回復)

第10条 調査により天井板や床板をはずした部分は、調査前の状況に復旧しなければならない。また、調査時に利用した天井点検口や床下点検口を確認するとともに、調査により汚した部分の清掃を併せて行うこととする。

(終了時説明)

第11条 調査終了後、「現地調査結果説明書」(様式4)を所有者等へ交付し、内容の確認を受ける。

第3章 評価判定業務

第12条～第18条 (省略)

第4章 報告書作成業務

(報告書)

第19条 耐震診断等の結果は、次の各号に定める図書とし、「耐震診断（一般診断法）結果報告書」（様式5）（コンピュータ耐震診断用ソフトによる出力を添付する。）により作成する。本要領で定める様式でコンピュータ耐震診断用ソフトによる出力と重複する箇所等は出力結果で代用することができる。なお、コンピュータ耐震診断用ソフトを使用しない場合等は、従前の様式を活用できる。

- (1) 建物概要 住宅の所在地、竣工年次、仕様及び建物（「軽い建物」、「重い建物」、「非常に重い建物」の種別等）、建物の概要が把握できるものとする。
- (2) 診断の方針 診断方法（「方法1」、「方法2」）の種別及びコンピュータ等を使用する場合は、耐震診断に使用したソフトの名称等、耐震診断における基本の方針を記載する。
- (3) 総合評価 第17条の総合評価、第18条の評価の解説及び部位別の評価を記載する。
- (4) 耐震診断計算書 上部構造評価点を算出のために行った計算及び計算のために設定した数値の根拠を示す。

第3章 評価判定業務

第12条～第18条 (省略)

第4章 報告書作成業務

(報告書)

第19条 耐震診断等の結果は、次の各号に定める図書とし、「耐震診断（一般診断法）結果報告書」（様式5）及び「結果修正表」（様式6-1, -2）により作成する。

- (1) 建物概要 住宅の所在地、竣工年次、仕様及び建物（「軽い建物」、「重い建物」、「非常に重い建物」の種別等）、建物の概要が把握できるものとする。
- (2) 診断の方針 診断方法（「方法1」、「方法2」）の種別及びコンピュータ等を使用し場合にあっては、耐震診断に使用したソフトの名称等、耐震診断における基本の方針を記載したものとする。
- (3) 総合評価 第17条の総合評価、第18条の評価の解説及び部位別の評価を記載したものとする。
- (4) 耐震診断計算書 上部構造評価点を算出のために行った計算及び計算のために設定した数値の根拠を示したものとする。なお、コンピュータ耐震診断用ソフトによる出力で代用することができる。

(5) 平面図 次の各細目により、__各階ごとに作成__する。__

ア 縮尺は、1/100 を標準とする__。

イ 耐震診断計算で必要となる四分割線を記載する。

ウ 各階床面積と四分割による各領域の床面積を明記する。

エ 壁及び筋かいの位置及び仕様（筋かいの寸法等）を記載する。

オ 方法2による場合は、垂れ壁付き独立柱及び垂れ壁・腰壁付き独立柱の位置・仕様を記載する。

カ 耐震壁、垂れ壁付き独立柱及び垂れ壁・腰壁付き独立柱にあつては、柱頭・柱脚の接合部の仕様を記載する。

キ 製図法は、JISA0150(建築製図通則)に準拠する__。

(6) 現況写真 第9条による現況写真のうち、代表的な外部、内部、劣化部を各1枚抽出し、「現況写真」(様式3)により作成__する。

(7) 補強計画 耐震診断の結果、耐震基準を満たさない住宅については、耐震性を向上させる壁・柱等の補強箇所や概算工事費等を示した「耐震補強計画報告書」(様式7) __を作成__する。

(根拠資料)

第20条 評価の根拠となる資料は、次の各号に定める図書とする。__

きる。

(5) 平面図 次の各細目により、平面図は各階ごとに作成するものとする。ただし、細目の内容を満たす場合は、コンピュータソフトによる出力図書とすることができる。

ア 縮尺は、1/100 を標準とすること。

イ 耐震診断計算で必要となる四分割線が記載されていること。

ウ 各階床面積と四分割による各領域の床面積が明記されていること。

エ 壁及び筋かいの位置及び仕様（筋かいの寸法等）が記載されていること。

オ 方法2による場合は、垂れ壁付き独立柱及び垂れ壁・腰壁付き独立柱の位置・仕様が記載されていること。

カ 耐震壁、垂れ壁付き独立柱及び垂れ壁・腰壁付き独立柱にあつては、柱頭・柱脚の接合部の仕様が記載されていること。

キ 製図法は、JISA0150(建築製図通則)に準拠すること。

(6) 現況写真 第9条による現況写真のうち、代表的な外部、内部、劣化部を各1枚抽出し、様式3により作成したものとする。

(7) 補強計画 耐震診断の結果、耐震基準を満たさない住宅については、耐震性を向上させる壁・柱等の補強箇所や概算工事費等を示した「耐震補強計画報告書」(様式7又は様式8)及び「概算費用の算定」(参考)を作成するものとする。

(根拠資料)

第20条 評価の根拠となる資料は、次の各号に定める図書とする。なお、コンピュータソフトによる出力で代用することができる。

- (1) 現地調査結果 第8条による「現地調査表」(様式2)とする。
(2) 現況写真 第9条による「現況写真」(様式3)とする。

(評価確認と報告)

第21条 耐震診断等の結果については、「耐震診断(一般診断法)結果報告書」(様式5)及び評価の根拠となる資料を診断結果審査機関へ提出し、内容の審査を受け、耐震診断者派遣機関又は所有者等へ報告しなければならない。

第5章 耐震診断者派遣機関の業務

第22条～第25条 (省略)

第6章 その他

(耐震診断の取り扱い)

第26条 (省略)

- (1) 現地調査結果 第8条による「現地調査表」(様式2)とする。
(2) 現況写真 第9条による「現況写真」(様式3)とする。

(評価確認と報告)

第21条 耐震診断等の結果については、「耐震診断(一般診断)報告書」(様式4)及び評価の根拠となる資料を診断結果審査機関へ提出し、内容の審査を受け、耐震診断者派遣機関又は所有者等へ報告しなければならない。

第5章 耐震診断者派遣機関の業務

第22条～第25条 (省略)

第6章 その他

(耐震診断の取り扱い)

第26条 (省略)

(様式1:事前説明書)

耐震診断現地調査事前説明書

1 耐震診断現地調査	年月日	令和 年 月 日
	調査時間	~
2 耐震診断者(責任者)	氏名	
	建築士事務所名	
	電話	
3 同行した建築大工等	氏名	
	会社等名	
	電話	
4 耐震診断者派遣機関	名称	
	総括責任者 職名・氏名	
	電話	
5 派遣を依頼した市町村	担当部局	
	担当者 職名・氏名	
	電話	
6 派遣依頼者(住宅所有者等)	氏名	
	住所	
7 診断の対象となる住宅の概要	所在地	
	構造	木造 階建
	建築年次	西暦 和暦
	延床面積	m ² 0.0 坪
8 納付すべき費用(個人負担金)	金額	円

耐震診断者 氏名 _____

所属建築士事務所名 _____

代表者氏名 _____

(様式1:事前説明書)

耐震診断現地調査事前説明書

1 現地調査日	〇〇 年 月 日	
2 耐震診断者(責任者)	氏名	
	所属する建築士事務所名	
	連絡先 電話番号	
3 同行者	氏名	
	所属する会社名	
	連絡先 電話番号	
4 耐震診断者派遣機関	名称	
	総括責任者 職氏名	
	連絡先 電話番号	
5 委託市町村	担当部局	
	担当者 職氏名	
	連絡先 電話番号	
6 所有者等	氏名	
	住所	
7 診断の対象となる住宅の概要	所在地	
	構造	
	建築年次	
	延床面積	m ² 坪
8 現地調査を行う時間		
9 現地調査において納付すべき費用(負担金)		円

耐震診断者 氏名 _____

所属建築士事務所名 _____

代表者氏名 _____

(様式2:現地調査表)

調査年月日	〇〇 年 月 日
建築士事務所名	
耐震診断者氏名	

(1) 聞き取り調査

一般事項 市町村から提供のあった資料を参考に、聞き取りで確認しながら記入する。

依頼者氏名		診断を依頼した所有者等
立会者氏名		当日調査に立会した所有者等
調査建物の場所 (住居表示)	〒 福島県	積雪地域 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 多雪
設計図面	<input type="checkbox"/> 有(構造図有) <input type="checkbox"/> 有(構造図無) <input type="checkbox"/> 無	構造図は筋かい等が、明示されたもの
確認通知書(副本)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 建築確認不要	
新築時確認年月日	昭和 〇〇年 〇〇月 〇〇日 <input type="checkbox"/> 不明	設計図書 <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
新築時確認番号	第 〇〇〇〇〇〇号 <input type="checkbox"/> 不明	検査済証 <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
増築時確認年月日	昭和 年 月 日 <input type="checkbox"/> 不明	設計図書 <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
増築時確認番号	第 号 <input type="checkbox"/> 不明	検査済証 <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
宅地造成の年月日	昭和 年 月 日 <input type="checkbox"/> 100年以上前 <input type="checkbox"/> 不明	
公庫仕様	<input type="checkbox"/> 公庫仕様建物 <input type="checkbox"/> その他	

地盤の状況 所有者等からの聞き取り事項を記入する。

宅地以前の状況	<input type="checkbox"/> 田・畑 <input type="checkbox"/> 湿地・谷地 <input type="checkbox"/> 切土(造成) <input type="checkbox"/> 盛土(造成) <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> その他(具体的に:)
地下水位の状況	<input type="checkbox"/> 高い(いつも地盤が湿っている、梅雨時や雪解け時湧水があるなど) <input type="checkbox"/> 低い・不明
日常における状況	<input type="checkbox"/> 近くを大型車や列車が通過するとき揺れが伝わってくる。 <input type="checkbox"/> 小さな地震(震度2や1)でも大きく揺れる。 <input type="checkbox"/> 特に異常はない。 <input type="checkbox"/> その他(具体的に:)
周辺・近隣の状況	<input type="checkbox"/> 近隣で、がけ崩れにより被害を受けた住宅がある。 <input type="checkbox"/> 近隣で、地震による被害を受けた住宅がある。

(様式2:現地調査表)

調査年月日	〇〇 年 月 日
建築士事務所名	
耐震診断者氏名	

(1) 聞き取り調査

一般事項 市町村から提供のあった資料を参考に、聞き取りで確認しながら記入する。

依頼者氏名		診断を依頼した所有者等
立会者氏名		当日調査に立会した所有者等
調査建物の場所 (住居表示)	〒 福島県	積雪地域 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 多雪
設計図面	<input type="checkbox"/> 有(構造図有) <input type="checkbox"/> 有(構造図無) <input type="checkbox"/> 無	構造図は筋かい等が、明示されたもの
確認通知書(副本)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 建築確認不要	
新築時確認年月日	昭和 〇〇年 〇〇月 〇〇日 <input type="checkbox"/> 不明	設計図書 <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
新築時確認番号	第 〇〇〇〇〇〇号 <input type="checkbox"/> 不明	検査済証 <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
増築時確認年月日	昭和 年 月 日 <input type="checkbox"/> 不明	設計図書 <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
増築時確認番号	第 号 <input type="checkbox"/> 不明	検査済証 <input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無
宅地造成の年月日	昭和 年 月 日 <input type="checkbox"/> 100年以上前 <input type="checkbox"/> 不明	
公庫仕様	<input type="checkbox"/> 公庫仕様建物 <input type="checkbox"/> その他	

地盤の状況 所有者等からの聞き取り事項を記入する。

宅地以前の状況	<input type="checkbox"/> 田・畑 <input type="checkbox"/> 湿地・谷地 <input type="checkbox"/> 切土(造成) <input type="checkbox"/> 盛土(造成) <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> その他(具体的に:)
地下水位の状況	<input type="checkbox"/> 高い(いつも地盤が湿っている、梅雨時や雪解け時湧水があるなど) <input type="checkbox"/> 低い・不明
日常における状況	<input type="checkbox"/> 近くを大型車や列車が通過するとき揺れが伝わってくる。 <input type="checkbox"/> 小さな地震(震度2や1)でも大きく揺れる。 <input type="checkbox"/> 特に異常はない。 <input type="checkbox"/> その他(具体的に:)
周辺・近隣の状況	<input type="checkbox"/> 近隣で、がけ崩れにより被害を受けた住宅がある。 <input type="checkbox"/> 近隣で、地震による被害を受けた住宅がある。

建物概要1 設計図、確認通知書を参考に記入する。

形状	平屋	
	2階建	
	3階建	

地下室・車庫	有		㎡
	無		

1F床面積	㎡
2F床面積	㎡
3F床面積	㎡
延床面積	㎡
建築面積	

用途	専用住宅		
	事務所併用		㎡
	店舗併用住宅		㎡

建物概要2 住宅所有者等からの聞き取りにより記入する。

新築・増築や改修時に筋かいを確認したか。	<input type="checkbox"/> 筋かいがあった <input type="checkbox"/> 無かった <input type="checkbox"/> 不明
新築・増築や改修時に基礎の鉄筋を確認したか。	<input type="checkbox"/> 鉄筋が入っていた <input type="checkbox"/> 無かった <input type="checkbox"/> 不明
台風や大風のとき建物の揺れはないか。	<input type="checkbox"/> 揺れる <input type="checkbox"/> 揺れない <input type="checkbox"/> 不明
床の傾きや柱の傾きはあるか。	<input type="checkbox"/> 傾いている部分がある <input type="checkbox"/> 無い <input type="checkbox"/> 不明
建具の建て付け不良箇所はあるか。	<input type="checkbox"/> 不良箇所がある <input type="checkbox"/> 無い <input type="checkbox"/> 不明
増改築や改修を行ったか。	<input type="checkbox"/> 増改築した <input type="checkbox"/> 改修した

増改築や改修の位置と内容 住宅所有者等からの聞き取りにより記入する。

実施期日	実施箇所	実施事由・コメント
昭和 年 月		
昭和 年 月		

被災歴 住宅所有者等からの聞き取りにより記入する。

・大雨や洪水等による被害状況とその対応	<input type="checkbox"/> 被害なし <input type="checkbox"/> 被害あり
(具体的に記入)	
・地震による被害状況とその対応	<input type="checkbox"/> 被害なし <input type="checkbox"/> 被害あり
(具体的に記入)	
・白蟻による被害状況とその対応	<input type="checkbox"/> 被害なし <input type="checkbox"/> 被害あり
(具体的に記入)	
・火災その他の災害による被害状況とその対応	<input type="checkbox"/> 被害なし <input type="checkbox"/> 被害あり
(具体的に記入)	

建物概要1 設計図、確認通知書を参考に記入する。

形状	平屋	
	2階建	
	3階建	

地下室・車庫	有		㎡
	無		

1F床面積	㎡
2F床面積	㎡
3F床面積	㎡
延床面積	㎡
建築面積	㎡

用途	専用住宅		
	事務所併用		㎡
	店舗併用住宅		㎡

建物概要2 所有者等からの聞き取りにより記入する。

新築・増築や改修時に筋かいを確認したか。	<input type="checkbox"/> 筋かいがあった。 <input type="checkbox"/> 無かった。 <input type="checkbox"/> 不明
新築・増築や改修時に基礎の鉄筋を確認したか。	<input type="checkbox"/> 鉄筋が入っていた。 <input type="checkbox"/> 無かった。 <input type="checkbox"/> 不明
台風や大風のとき建物の揺れはないか。	<input type="checkbox"/> 揺れる。 <input type="checkbox"/> 揺れない。 <input type="checkbox"/> 不明
床の傾きや柱の傾きはあるか。	<input type="checkbox"/> 傾いている部分がある。 <input type="checkbox"/> 無い。 <input type="checkbox"/> 不明
建具の建て付け不良箇所はあるか。	<input type="checkbox"/> 不良箇所がある。 <input type="checkbox"/> 無い。 <input type="checkbox"/> 不明
増改築や改修を行ったか。	<input type="checkbox"/> 増改築した。 <input type="checkbox"/> 改修した。

増改築や改修の位置と内容	(具体的に記入)	
実施期日	実施箇所	実施事由・コメント

被災歴 所有者等からの聞き取りにより記入する。

・大雨や洪水等による被害状況とその対応	<input type="checkbox"/> 被害なし <input type="checkbox"/> 被害あり
(具体的に記入)	
・地震による被害状況とその対応	<input type="checkbox"/> 被害なし <input type="checkbox"/> 被害あり
(具体的に記入)	
・白蟻による被害状況とその対応	<input type="checkbox"/> 被害なし <input type="checkbox"/> 被害あり
(具体的に記入) 1階北西部の押し入れの敷居が下がったため調査した結果白蟻による物だったため業者に依頼して駆除を行った。	
・火災その他の災害による被害状況とその対応	<input type="checkbox"/> 被害なし <input type="checkbox"/> 被害あり
(具体的に記入)	

(2)地盤及び建物形状調査書

該当事項に○印、□にレ印及び注意事項があればその内容を記載する。

地盤・基礎 設計図、確認通知書を参考に記入する。

地盤	施されている対策の程度	該当事項	注意事項
良い・普通			
悪い			
非常に悪い (埋立地、盛土、 軟弱地盤)	表層の地盤改良を行っている 杭基礎である		
	特別な対策を行っていない		

地形	施されている対策の程度	該当事項	注意事項
平坦・普通	特別な対策を行っていない コンクリート擁壁 石積		
がけ地・急斜面	特別な対策を行っていない コンクリート擁壁 石積		

擁壁の状態	該当事項	注意事項
健全と思われる		
注意を要する(危険と思われる)		
<input type="checkbox"/> 重力式(間知石積、無筋コンクリート)		
<input type="checkbox"/> L字型・T字型(鉄筋コンクリート)		
<input type="checkbox"/> その他の構造()		
<input type="checkbox"/> 傾斜有り <input type="checkbox"/> ハラミあり <input type="checkbox"/> 亀裂あり		

基礎形式	状態	該当事項	注意事項
鉄筋コンクリート基礎	健全 ひび割れが生じている		
無筋コンクリート基礎	健全 軽微なひび割れが生じている ひび割れが生じている		
玉石基礎	足固めあり 足固めなし		
その他			

建物形状	現地調査	該当事項
総2階建てである		充足率から低減係数算定
一部2階建てである(2階部分の片寄り・突出) (偏心率・充足率等により低減係数算定)		充足率および偏心率により 低減係数算定
いずれかの階の短辺の長さが4.0m未満		必要耐力1.3倍(充足率)
いずれかの階の短辺の長さが4.0m以上6.0m未満		必要耐力1.15倍(充足率)
いずれかの階の短辺の長さが6.0m以上		必要耐力1.0倍(充足率)
居室のオーバーハングがある(バルコニーを除く)		問題の箇所がある場合は、 総合評価において、その他 の留意事項として記載する。
増改築時に抜いた柱や壁がある		
スキップフロアー等、特別な形状である		
ロフトが mある		
大きな屋根開口がある(1.8m×1.8m以上)		
耐力壁軸組の2Fと1Fのズレがある		

(2)地盤及び建物形状調査書

該当事項に○印、□にレ印及び注意事項があればその内容を記載する。

地盤・基礎

地盤	施されている対策の程度	該当事項	注意事項
良い・普通			
悪い			
非常に悪い (埋立地、盛土、 軟弱地盤)	表層の地盤改良を行っている 杭基礎である		
	特別な対策を行っていない		

地形	施されている対策の程度	該当事項	注意事項
平坦・普通	特別な対策を行っていない コンクリート擁壁 石積		
がけ地・急斜面	特別な対策を行っていない コンクリート擁壁 石積		

擁壁の状態	該当事項	注意事項
健全と思われる		
注意を要する(危険と思われる)		
<input type="checkbox"/> 重力式(間知石積、無筋コンクリート)		
<input type="checkbox"/> L字型・T字型(鉄筋コンクリート)		
<input type="checkbox"/> その他の構造()		
<input type="checkbox"/> 傾斜有り <input type="checkbox"/> ハラミあり <input type="checkbox"/> 亀裂あり		

基礎形式	状態	該当事項	注意事項
鉄筋コンクリート基礎	健全 ひび割れが生じている		
無筋コンクリート基礎	健全 軽微なひび割れが生じている ひび割れが生じている		
玉石基礎	足固めあり 足固めなし		
その他			

地盤・基礎の重大な注意事項 有 無 有りの場合は、総合評価に記載する。

建物形状	現地調査	判定	該当事項
総2階建てである		充足率から低減係数算定	
一部2階建てである(2階部分の片寄り・突出) (偏心率・充足率等により低減係数算定)		充足率および偏心率により 低減係数算定	
2階建ての1階の短辺の長さが4.0m未満		必要耐力1.13倍(充足率)	
居室のオーバーハングがある(バルコニーを除く)		問題の箇所がある場合は、 総合評価において、その他 の留意事項として記載する。	
増改築時に抜いた柱や壁がある			
スキップフロアー等、特別な形状である			
ロフトが mある			
大きな屋根開口がある(1.8m×1.8m以上)			
耐力壁軸組の2Fと1Fのズレがある			

(3)劣化状況の調査

該当点数に○印、特筆事項に劣化事象の具体的状況を記載する。

(劣化対象部分は写真を添付する事)

部 位	材料・部材等	劣 化 現 象	存在点数		劣化 点数	特筆事項 ※コメントを記入してください	
			築10年				
			未 満	以 上			
屋根葺き材	金属板	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれがある	2	2	2		
	瓦・スレート	割れ、欠け、ずれ、欠落がある					
樋	軒・呼び樋	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれがある	2	2	2		
	縦 樋	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれがある	2	2	2		
外壁仕上げ	木製板、合板	水浸み痕、こけ、割れ、抜け節、ずれ、腐朽がある	4	4	4		
	窯業系サイディング	こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある					
	金属サイディング	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある					
	モルタル	こけ、0.3mm以上の亀裂、剥落がある					
露出した躯体		水浸み痕、こけ、腐朽、蟻道、蟻害がある	2	2	2		
バルコニー・ベランダ	手すり壁	木製板、合板	/	1	1		
		窯業系サイディング					こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある
		金属サイディング					変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある
		外壁との接合部					接合部に亀裂、隙間、緩み、シール切れ、剥離等がある
床排水		壁面を伝って流れている、または排水の仕組みがない	/	1	1		
内 壁	一般室	内壁、窓下	2	2	2		
	浴室	タイル壁	2	2	2		
		タイル以外	水浸み痕、変色、亀裂、カビ、腐朽、蟻害がある				
床	床面	一般室	2	2	2		
		廊下	/	1	1		
	床下		2	2	2		

(3)劣化状況の調査

該当点数に○印、特筆事項に劣化事象の具体的状況を記載する。

(劣化対象部分は写真を添付する事)

部 位	材料・部材等	劣化事象	存在点数		劣化点数	特筆事項	
			築10年 未 満	築10年 以 上			
屋根葺き材	金属板	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれがある	2	2	2		
	瓦・スレート	割れ、欠け、ずれ、欠落がある					
樋	軒・呼び樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある	2	2	2		
	縦 樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある	2	2	2		
外壁仕上げ	木製板、合板	水浸み痕、こけ、割れ、抜け節、ずれ、腐朽がある	4	4	4		
	窯業系サイディング	こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある					
	金属サイディング	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある					
	モルタル	こけ、0.3mm以上の亀裂、剥落がある					
露出した躯体		水浸み痕、こけ、腐朽、蟻道、蟻害がある	2	2	2		
バルコニー・ベランダ	手すり壁	木製板、合板	/	1	1		
		窯業系サイディング					こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある
		金属サイディング					変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある
		外壁との接合部					接合部に亀裂、隙間、緩み、シール切れ、剥離等がある
床排水		壁面を伝って流れている、または排水の仕組みが無い	/	1	1		
内 壁	一般室	内壁、窓下	2	2	2		
	浴室	タイル壁	2	2	2		
		タイル以外	水浸み痕、変色、亀裂、カビ、腐朽、蟻害がある				
床	床面	一般室	2	2	2		
		廊下	/	1	1		
	床下		2	2	2		

(4) 建物内部調査

室内および1階床下・天井裏を調査し、以下の項目を記入する。

内 部 調 査		
屋内	平面プラン	平面寸法、平面形状、壁配置の図面照合 <input type="checkbox"/> 食い違い有り <input type="checkbox"/> 食い違いなし <input type="checkbox"/> 図面なし
	柱の傾斜	傾斜方向: X方向最大: 1/ Y方向最大: 1/
	床の不陸	<input type="checkbox"/> 歩行による診断: <input type="checkbox"/> レベル計測 相対沈下量:
床下 一階	土台	腐朽 <input type="checkbox"/> 有 具体に: <input type="checkbox"/> 無
		蟻害 <input type="checkbox"/> 有 具体に: <input type="checkbox"/> 無
	火打土台	<input type="checkbox"/> 有 → <input type="checkbox"/> 概ね確認済み <input type="checkbox"/> 一部確認できた <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 目視できない
	壁の仕様	外壁 外装材: 外装下地: 躯体: <input type="checkbox"/> 在来軸組工法 <input type="checkbox"/> その他()
		内壁 内装材:
	アンカーボルト	<input type="checkbox"/> 有 → <input type="checkbox"/> 概ね確認済み <input type="checkbox"/> 一部確認できた <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 目視できない(確認できない)
天井裏	床梁や小屋梁	細部の緊結方法:
	筋かい	<input type="checkbox"/> 有 (仕様や寸法等は概略図に記載する) <input type="checkbox"/> 無 緊結方法:
	胴差や軒桁	継ぎ手の位置: 緊結方法:
	柱	横架材との緊結方法:
	小屋筋かい	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 目視できない
	各 部 材	腐朽: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 具体に:
	小屋裏換気口	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 目視できない
二階床や屋根	下地: 屋根部分(野地板) 又は 2階部分(合板張り) <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
火打梁	<input type="checkbox"/> 有 → <input type="checkbox"/> 概ね確認済み <input type="checkbox"/> 一部確認できた <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 目視できない	
下屋、 増築部 突出部	母屋との 接合部分で 金物使用	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 確認できない

(4) 建物内部調査

室内および1階床下・天井裏を調査し、以下の項目を記入する。

内 部 調 査		
屋 内	平面プラン	平面寸法、平面形状、壁配置の図面照合 <input type="checkbox"/> 食い違い有り <input type="checkbox"/> 食い違いなし <input type="checkbox"/> 図面なし
	柱の傾斜	傾斜方向: X方向最大: 1/ Y方向最大: 1/
	床の不陸	<input type="checkbox"/> 歩行による診断: <input type="checkbox"/> レベル計測 相対沈下量: 2階廊下: 傾斜有り
床下 一階	土台	腐朽 <input type="checkbox"/> 有 具体に: <input type="checkbox"/> 無
		蟻害 <input type="checkbox"/> 有 具体に: <input type="checkbox"/> 無
	火打土台	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 確認できない 配置調査: <input type="checkbox"/> 概ね確認済み <input type="checkbox"/> 一部確認できた
	壁の仕様	外壁 外装材: 外装下地: 躯体: <input type="checkbox"/> 在来軸組工法 <input type="checkbox"/> 枠組壁工法
		内壁 内装材:
	アンカーボルト	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 確認できない 配置、状態: <input type="checkbox"/> 概ね確認済み <input type="checkbox"/> 一部確認できた
天井裏	床梁や小屋梁	細部の緊結方法:
	筋 かい	<input type="checkbox"/> 有 (仕様や寸法等は概略図に記載する) ・ <input type="checkbox"/> 無 緊結方法:
	胴差や軒桁	継ぎ手の位置: 緊結方法:
	柱	横架材との緊結方法:
	桁行き方向の 小屋筋かい	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 確認できな い 耐力壁線上にあるかどうか <input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
	各 部 材	腐朽: <input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 確認できない 具体に:
	小屋裏換気口	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 確認できない
	二階床や屋根	下地: 屋根部分(あら床) 又は 2階部分(合板張り) <input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無
	火 打 梁	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 確認できない 配置調査: <input type="checkbox"/> 概ね確認済み <input type="checkbox"/> 一部確認できた
	2階隅柱が 梁上の場合	柱脚と梁端の緊結方法:
下屋、 増築部 突出部	母屋との 接合部分で 金物使用	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 確認できない

(5) 構造体力上主要な部分の経年劣化判定

劣化状況から補修・補強の必要性を判定し、要・不要の欄に●印をする。

基礎・柱			
部位	判定基準		所見(補修・補強の要)
基礎	目視観察	ひび割れはほとんどない	要 不要
		局部的に小さなひび割れ有り	要 不要
		換気口廻り、隅角部等にひび割れ、損傷あり	要 不要
		基礎が割れている	要 不要
		不同沈下がみられる、部分的に崩壊している	要 不要
柱	傾斜測定	1/500以下	要 不要
		1/499 ~ 1/200	要 不要
		1/199 ~ 1/120	要 不要
		1/119 ~ 1/60	要 不要
		1/60を超える	要 不要

外壁

部位	判定基準		所見(補修・補強の要)
外壁	モルタルひび割れ	表面ひび割れはほとんどない	要 不要
		不連続に局部的に小さなひび割れあり	要 不要
		連続した小さな表面ひび割れあり	要 不要
		交錯またはやや深いひび割れ	要 不要
		深く幅広いまたは全面ひび割れあり	要 不要
		割れ、はがれがほとんどない	要 不要
		局部的に小さな割れ、はがれがあり、雨水の浸入の恐れあり	要 不要
		連続した割れ、はがれがあり、雨水の浸入の恐れあり	要 不要
		深い割れ、大きなはがれがあり、雨水の浸入あり	要 不要
		深い割れ、大きなはがれがあり、雨水の浸入が認められる	要 不要

床組・屋根

部位	判定基準		所見(補修・補強の要)
床組	剛性の低下 歩行による診断	通常の歩行で不安感がない	要 不要
		数力所できしみ音がある	要 不要
		家具・建具が揺れる	要 不要
		踏むと床が局部的にたわむ	要 不要
		床全体が揺れて大きいたわむ	要 不要
屋根	雨漏り・棟線	屋根について異常はない	要 不要
		屋根の一部が傷んでいる	要 不要
		天井にしみがみられる	要 不要
		棟線の下がりをはっきりとわかる	要 不要
		棟線が波うっていることがわかる	要 不要

(5) 構造体力上主要な部分の経年劣化判定

劣化状況から補修・補強の必要性を判定し、要・不要の欄にレ印をする。

基礎・柱			
部位	判定基準		所見(補修・補強の要)
基礎	目視観察	ひび割れはほとんどない	要 不要
		局部的に小さなひび割れ有り	要 不要
		換気口廻り、隅角部等にひび割れ、損傷あり	要 不要
		基礎が割れている	要 不要
		不同沈下がみられる、部分的に崩壊している	要 不要
柱	傾斜測定	1/500以下	要 不要
		1/499 ~ 1/200	要 不要
		1/199 ~ 1/120	要 不要
		1/119 ~ 1/60	要 不要
		1/60を超える	要 不要

外壁

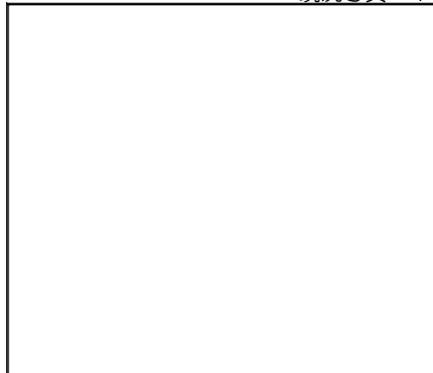
部位	判定基準		所見(補修・補強の要)
外壁	モルタルひび割れ	表面ひび割れはほとんどない	要 不要
		不連続に局部的に小さなひび割れあり	要 不要
		連続した小さな表面ひび割れあり	要 不要
		交錯またはやや深いひび割れ	要 不要
		深く幅広いまたは全面ひび割れあり	要 不要
	外装材の割れ等	割れ、はがれがほとんどない	要 不要
		局部的に小さな割れ、はがれがあり、雨水の浸入の恐れあり	要 不要
		連続した割れ、はがれがあり、雨水の浸入の恐れあり	要 不要
		深い割れ、大きなはがれがあり、雨水の浸入あり	要 不要
		深い割れ、大きなはがれがあり、雨水の浸入が認められる	要 不要

床組・屋根

部位	判定基準		所見(補修・補強の要)
床組	剛性の低下 歩行による診断	通常の歩行で不安感がない	要 不要
		数力所できしみ音がある	要 不要
		家具・建具が揺れる	要 不要
		踏むと床が局部的にたわむ	要 不要
		床全体が揺れて大きいたわむ	要 不要
屋根	棟線の下がり 雨漏り!	目視観察	要 不要
		屋根について異常はない	要 不要
		屋根の一部が傷んでいる	要 不要
		天井にしみがみられる	要 不要
		棟線の下がりをはっきりとわかる	要 不要
棟線が波うっていることがわかる	要 不要		

(様式3: 現況写真)

現況写真 1



●写真部位

●補足事項



●写真部位

●補足事項



●写真部位

●補足事項

(様式3: 現況写真)

現 況 写 真

No. _____



●写真部位

●補足事項



●写真部位

●補足事項



●写真部位

●補足事項

(様式4:現地調査結果報告書)

建築士事務所名

耐震診断者名

現地調査結果説明書

調査可能な部分について記入しています。

部位等	部材有・無	調査内容	問題有・無	コメント	
構造耐力上主要な軸組等	柱	大きな欠き込み、割れ等による問題はありますか。	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
		ゆるみ、金物の錆、腐食等による問題はありますか。	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
	梁・桁	大きな欠き込み、割れ等による問題はありますか。	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
		ゆるみ、金物の錆、腐食等による問題はありますか。	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
	土台	大きな欠き込み、割れ等による問題はありますか。	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
		ゆるみ、金物の錆、腐食等による問題はありますか。	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
	筋かい・面材	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	大きな欠き込み、割れ等による問題はありますか。	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	※断面寸法を記入
			ゆるみ、金物の錆、腐食等による問題はありますか。	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	床下部材	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	足固め、根がらみ等で固められていないことで問題はありますか。	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	水平剛性確保	2階床面または小屋梁面	吹抜け	火打ちの有無、床版が合板か金物で十分固められていない等の問題はありますか。	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
吹抜けの面積の大きさ、吹抜け部分の対策による問題はありますか。				<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
下屋、増築部	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	母屋との接合部分について、金物が十分使用されていない等の問題がありますか。	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		

※ 耐震診断の総合判定値は、調査可能な範囲以外には不具合がないという前提で算定されます。今後の耐震改修にあたっては、さらに確認できなかった不具合の発見に努め、これらの不具合の改善を含めて判定値の向上につながる改修を行って下さい。
なお、本診断は建物の上部構造に対する診断です。地盤・基礎についての注意事項は耐震診断報告書を参考にしてください。

上記内容の説明を確かに受けました。

令和 年 月 日

住宅所有者等の氏名

(サイン)

(現地調査時に2部作成し、1部を依頼者へ渡し、1部は報告書に添付して下さい。)

(様式4:現地調査結果報告書)

建築士事務所名

耐震診断者氏名

現地調査結果説明書

調査可能な部分について記入しています。

部位等	部材有・無	調査内容	問題有・無	コメント
構造耐力上主要な軸組等	柱		大きな欠き込み、割れの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	梁・桁		大きな欠き込み、割れの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	土台	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	大きな欠き込み、割れの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	筋かい等	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	大きな欠き込み、割れの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	柱と梁桁	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	ゆるみ、金物の錆、腐食等	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	土台と柱	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	ゆるみ、金物の錆、腐食等	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	筋かい材	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	ゆるみ、金物の錆、腐食等	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
床下部材		足固め、根がらみ等で固められているか	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
梁と柱、差し鴨居			柱から抜け落ちる形式ではないか	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
筋かい端部(土台をのぞく)		引張、圧縮に対して抜けたり、踏み外さないか	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
水平剛性の確保	2階床面または小屋梁面		火打ちの有無、床版は合板か金物は十分使用されているか	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	吹抜け		吹抜けの面積の大きさ、吹抜け部分の対策、補強の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	下屋、増築部		母屋との接合部分について金物が十分使用されているか	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

※耐震診断の総合判定値は、調査可能な範囲以外には不具合がないという前提で算定されます。今後の耐震改修にあたっては、さらに確認できなかった不具合の発見に努め、これらの不具合の改善を含めて判定値の向上につながる改修を行って下さい。
なお、本診断は建物の上部構造に対する診断です。地盤・基礎についての注意事項は耐震診断報告書を参考にしてください。

上記内容の説明を確かに受けました。

年 月 日

所有者等の氏名 (サインまたは印)

(現地調査時に2部作成し、1部を所有者等へ渡し、1部は報告書に添付して下さい。)

(様式5:耐震診断(一般診断法)結果報告書)

耐震診断(一般診断法)結果報告書

派遣依頼者

_____様

建築士事務所名
代表者氏名
耐震診断者氏名
審査機関の名称:

下記住宅の耐震診断の結果は、以下の通りです。

なお、この耐震診断結果は調査時点での診断結果ですので、その後の経年劣化等に対しては、十分な維持管理をお願いします。

建物名称	_____様 住宅
所在地	_____

1 診断結果

0 :倒壊する可能性が高い

上部構造	3階の 評点	X方向	判定は、評点の最小値で行います。
		Y方向	
	2階の 評点	X方向	構造評点 : 判定(大地震での倒壊の可能性) 1.5以上 : 倒壊しない 1.0~1.5未満 : 一応倒壊しない 0.7~1.0未満 : 倒壊する可能性がある 0.7未満 : 倒壊する可能性が高い ※詳細は電算アウトプットデータでご確認ください。
		Y方向	
	1階の 評点	X方向	
		Y方向	

※上部構造評点が0.7未満「倒壊する可能性が高い」または上部構造評点が1.0未満「倒壊する」可能性がある」と判定された場合は、何らかの問題がありますので、より詳細な精密診断や耐震補強設計(補強後の最終耐力等の確認)を依頼することをお勧めします。また、リフォームを検討している場合は、是非この耐震診断結果を参考に耐震補強を行ってください。

2 評価の解説

(注)本報告書にはコンピューター耐震診断用ソフトによる計算結果を出力し添付する。

(様式5:耐震診断(一般診断法)結果報告書)

耐震診断(一般診断法)結果報告書

_____年 月 日

所有者等(依頼者)

_____様

建築士事務所名
代表者氏名
耐震診断者氏名
審査機関の名称:

下記住宅の耐震診断の結果は、以下の通りです。

なお、この耐震診断結果は調査時点での診断結果ですので、その後の経年劣化等に対しては、十分な維持管理をお願いします。

1 建物概要

①建物名称	_____様 住宅
②所在地	福島県_____
③竣工年次	西暦_____年 和暦 <input type="checkbox"/> 昭和、 <input type="checkbox"/> 大正、 <input type="checkbox"/> 明治_____年
④建物仕様	屋根仕様: _____ 壁仕様: _____ [<input type="checkbox"/> 軽い建物 <input type="checkbox"/> 重い建物 <input type="checkbox"/> 非常に重い建物]
⑤地域係数 Z	[<input type="checkbox"/> 1.0 <input type="checkbox"/> 0.9 <input type="checkbox"/> 0.8 <input type="checkbox"/> 0.7]
⑥軟弱地盤割増	[<input type="checkbox"/> 1.5 <input type="checkbox"/> 1.0]
⑦形状割増係数	1階短辺長さ_____m [<input type="checkbox"/> 1.13(4m未満) <input type="checkbox"/> 1.0(4m以上)]
⑧積雪深さ	_____m 積雪割増: _____Z (雪下ろし低減: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無)
⑨基礎形式	_____ [<input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III]
⑩床仕様	_____ [<input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III]
⑪主な柱の径	通柱_____mm 管柱_____mm [<input type="checkbox"/> 120mm未満 <input type="checkbox"/> 120mm以上]

2 耐震診断の方針

診断方法	<input type="checkbox"/> 方法1(壁が主な耐震要素) <input type="checkbox"/> 方法2(太い柱の伝統的構法)
耐震診断に使用したコンピュータソフト	<input type="checkbox"/> 日本建築防災協会ソフト <input type="checkbox"/> 上記以外 メーカー名: _____ ソフト(バージョン)名: _____ 認定状況、認定機関: _____

3 総合評価

耐震診断結果の総合評価			
地盤・基礎	地盤に関する 注意事項		
	基礎に関する 注意事項		
上部構造	判 定		
	3階の 評点	X方向	判定は、評点の最小値で行います。 構造評点 : 判定(大地震での倒壊の可能性) 1.5 以上 : 倒壊しない 1.0~1.5 未満 : 一応倒壊しない 0.7~1.0 未満 : 倒壊する可能性がある 0.7 未満 : 倒壊する可能性が高い
		Y方向	
	2階の 評点	X方向	
		Y方向	
	1階の 評点	X方向	
Y方向			
敷地その他	擁壁に関する注 意事項		
	ブロック塀その他 の注意事項		
評価の解説			

※ 地盤・基礎、敷地その他についての注意事項とは、大地震時に地盤や基礎の破壊などによって住宅そのものを倒壊させる恐れのある事項と擁壁やブロック塀の破壊などによる道路や他の住宅に被害を及ぼす恐れのある事項のことです。ただし、他人所有の崖地や地滑りなどの広域的な地盤変化など、住宅所有者の一存では改修の困難な事項については考慮しておりませんので、このような危険がある場合には、この報告書とは別に注意して下さい。

(耐震診断用ソフトの出力結果の添付に代える)

4 部位別評価

(a) 地盤・基礎 (該当事項は○印で示します。)

地盤	施されている対策の程度	該当事項	注意事項
良い・普通			
悪い			
非常に悪い (埋立地、盛り土、軟弱地盤)	表層の地盤改良を行っている		
	杭基礎である 特別な対策を行っていない		

地形	施されている対策の程度	該当事項	注意事項
平坦・普通			
がけ地・急斜面	コンクリート擁壁		
	石積 特別な対策をおこなっていない		

擁壁の状態	該当事項	注意事項
健全と思われる		
注意を要する(危険と思われる)		

基礎形式	状態	該当事項	注意事項
鉄筋コンクリート基礎	健全		
	ひび割れが生じている		
無筋コンクリート基礎	健全		
	軽微なひび割れが生じている ひび割れが生じている		
玉石基礎	足固めあり		
	足固めなし		
その他 (ブロック基礎など)			

地盤・基礎の重大な注意事項	
---------------	--

※「地盤・基礎の重大な注意事項」欄に問題点が指摘されている場合は、大地震時に地盤や基礎の破壊などにより、住宅そのものの倒壊を招く恐れがあります。ぜひ対策をとられるようお勧めします。

※「注意事項」欄に問題点が指摘されている場合は、有効な対策を講じる必要があります。地盤・擁壁の問題点につきましては、地盤・擁壁の専門家に御相談下さい。

下記事項についても重要ですので改善して下さい。

項目1. ○○○○○
項目2. ○○○○○
項目3. ○○○○○
項目4. ○○○○○
項目5. ○○○○○
項目6. ○○○○○

(b)上部構造（現況）

階	方向	壁・柱の耐力 Q _w (kN)	その他の耐力 Q _e (kN)	配置低減 dKel	劣化度 dK	保有する耐力 edQu(kN)	必要耐力 Qr(kN)	上部構造 評点
3階	X							
	Y							
2階	X							
	Y							
1階	X							
	Y							

上部構造評点	耐震性の判断
1.5以上	倒壊しない
1.0以上～1.5未満	一応倒壊しない
0.7以上～1.0の未満	倒壊する可能性がある
0.7未満	倒壊する可能性が高い

※上部構造評点が0.7未満「倒壊する可能性が高い」または上部構造評点が1.0未満「倒壊する可能性がある」と判定された場合は、何らかの問題がありますので、より詳細な精密診断や耐震補強設計（補強後の最終耐力等の確認）を依頼することをお勧めします。
また、リフォームを検討している場合は、是非この耐震診断結果を参考に耐震補強を行ってください。

下記事項についても重要ですので改善して下さい。

項目1. ○○○○○
項目2. ○○○○○
項目3. ○○○○○
項目4. ○○○○○
項目5. ○○○○○
項目6. ○○○○○

(耐震診断用ソフトの出力結果の添付に代える)

5 耐震診断計算書 (注意事項:コンピュータソフトによる出力で代用できる。)

必要耐力の算出

	床面積 (㎡)		床面積あたり 必要耐力 (KN/㎡)		積雪用 必要耐力 (KN/㎡)		地域係数 Z		軟弱地盤 割増係数		形状 割増係数		必要耐力 Qr (KN)
3階		×		+)×		×		×		=	
2階													
1階													

耐力要素の配置等による低減係数必要耐力

梁間a

	床面積 梁a (㎡)		床面積あたり 必要耐力 (KN/㎡)		積雪用 必要耐力 (KN/㎡)		地域係数 Z		軟弱地盤 割増係数		形状 割増係数		必要耐力 Qr (KN)
3階		×		+)×		×		×		=	
2階													
1階													

梁間b

	床面積 梁b (㎡)		床面積あたり 必要耐力 (KN/㎡)		積雪用 必要耐力 (KN/㎡)		地域係数 Z		軟弱地盤 割増係数		形状 割増係数		必要耐力 Qr (KN)
3階		×		+)×		×		×		=	
2階													
1階													

桁行a

	床面積 桁行a (㎡)		床面積あたり 必要耐力 (KN/㎡)		積雪用 必要耐力 (KN/㎡)		地域係数 Z		軟弱地盤 割増係数		形状 割増係数		必要耐力 Qr (KN)
3階		×		+)×		×		×		=	
2階													
1階													

桁行b

	床面積 桁行b (㎡)		床面積あたり 必要耐力 (KN/㎡)		積雪用 必要耐力 (KN/㎡)		地域係数 Z		軟弱地盤 割増係数		形状 割増係数		必要耐力 Qr (KN)
3階		×		+)×		×		×		=	
2階													
1階													

(耐震診断用ソフトの出力結果の添付に代える)

耐力要素の配置等による低減係数 eKf I

床仕様						
階	方向	領域	必要耐力 Qr	保有耐力 Qw	充足率 Qw/Qr	耐力配置の配置等による 低減係数 eKf I
3F	X方向	桁行a				
		桁行b				
	Y方向	梁間a				
		梁間b				
2F	X方向	桁行a				
		桁行b				
	Y方向	梁間a				
		梁間b				
1F	X方向	桁行a				
		桁行b				
	Y方向	梁間a				
		梁間b				

劣化度による低減係数 dK

部位	材料、部材等	劣化事象	存在点数		劣化 点数	
			築10年 未満	築10年 以上		
屋根葺き材	金属板	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれがある	2	2	2	
	瓦・スレート	割れ、欠け、ずれ、欠落がある				
樋	軒・呼び樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある	2	2	2	
	縦 樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある	2	2	2	
外壁仕上げ	木製板、合板	水浸み痕、こけ、割れ、抜け節、ずれ、腐朽がある	4	4	4	
	窯業系サイディング	こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある				
	金属サイディング	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある				
	モルタル	こけ、0.3mm以上の亀裂、剥落がある				
露出した躯体		水浸み痕、こけ、腐朽、蟻道、蟻害がある	2	2	2	
バルコニー	手すり壁	木製板、合板	/	1	1	
		窯業系サイディング				こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある
		金属サイディング				変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある
		外壁との接合部				外壁面との接合部に亀裂、隙間、緩み、シール切れ・剥離がある
	床排水	壁面を伝って流れている、または排水の仕組みが無い	/	1	1	
内壁	一般室	内壁、窓下	2	2	2	
	浴室	タイル壁	2	2	2	
		タイル以外	水浸み痕、変色、亀裂、カビ、腐朽、蟻害がある			
床	床面	一般室	2	2	2	
		廊下	/	1	1	
	床下	基礎のひび割れや、床下部材に腐朽、蟻道、蟻害がある	2	2	2	
合計						

劣化度による低減係数 $dK = 1 - (\text{劣化点数の合計} / \text{存在点数}) =$

耐震診断(一般診断法)における注意事項

注意事項(必ずお読みください。)

1. この診断は、国土交通省監修による一般財団法人日本建築防災協会発行の「木造住宅の耐震診断と補強方法」による「一般診断法」に基づくものですが、個々の建物ごとに状況が異なるため、あくまで安全性を判断する目安であり、大規模な地震時に倒壊しないことを保証するものではありません。
2. この診断は、震度6強～7程度、阪神淡路大震災クラスの大規模な地震に対して、木造住宅がどの程度の安全性があるかを判定するものです。
3. 「倒壊しない」、「一応倒壊しない」と判定された場合は、住宅に被害がないということではなく、建物に損傷を受けることがあっても、倒壊して人命が失われるほどの被害は受けないという意味です。
4. 「倒壊する可能性がある」または「倒壊する可能性が高い」と判定された場合は、何らな問題がありますので、より詳細な精密診断や耐震補強設計(補強後の最終耐力等の確認)を依頼することをお勧めします。また、リフォームを検討している場合は、是非この耐震診断結果を参考に耐震補強を行ってください。
5. この診断は、住宅の工事が良好に行われ、かつ、適切に維持管理されていて部分的な欠陥がないことを前提としておりますので、総合評価が悪くても部分的な欠陥がある場合には、その補修等の検討が必要となります。
6. 図面などの資料が無く、建物の状況が把握できない場合は、推測に基づき診断を行っておりますので、総合評価は幅を持ってとらえてください。
7. 特定の地震に対する判定ではありませんので、震源地からの距離など、地震の内容により影響は異なります。
8. この診断は、あくまで、建物自体を対象としたものでありますが、阪神淡路大震災や宮城県北部地震でも建物が無事でありながら家具の転倒などによる犠牲者も多数でしたので、建物の耐震化と同時に、家具の転倒防止などについても是非検討されることをお勧めします。

耐震診断(一般診断法)における注意事項

注意事項(必ずお読みください。)

- 1 この診断は、国土交通省監修による財団法人日本建築防災協会発行の「木造住宅の耐震診断と補強方法」による「一般診断法」に基づくものですが、個々の建物ごとに状況が異なるため、あくまで安全性を判断する目安であり、大規模な地震時に倒壊しないことを保証するものではありません。
- 2 この診断は、震度6強～7程度、阪神淡路大震災クラスの大規模な地震に対して、木造住宅がどの程度の安全性があるかを判定するものです。
- 3 「倒壊しない」、「一応倒壊しない」と判定された場合は、住宅に被害がないということではなく、建物に損傷を受けることがあっても、倒壊して人命が失われるほどの被害は受けないという意味です。
- 4 「倒壊する可能性がある」または「倒壊する可能性が高い」と判定された場合は、何らな問題がありますので、より詳細な精密診断や耐震補強設計(補強後の最終耐力等の確認)を依頼することをお勧めします。また、リフォームを検討している場合は、是非この耐震診断結果を参考に耐震補強を行ってください。
- 5 この診断は、住宅の工事が良好に行われ、かつ、適切に維持管理されていて部分的な欠陥がないことを前提としておりますので、総合評価が悪くても部分的な欠陥がある場合には、その補修等の検討が必要となります。
- 6 図面などの資料が無く、建物の状況が把握できない場合は、推測に基づき診断を行っておりますので、総合評価は幅を持ってとらえてください。
- 7 特定の地震に対する判定ではありませんので、震源地からの距離等、地震の内容により影響は異なります。
- 8 この診断は、あくまで、建物自体を対象としたものでありますが、阪神淡路大震災や宮城県北部地震でも建物が無事でありながら家具の転倒などによる犠牲者も多数でしたので、建物の耐震化と同時に、家具の転倒防止などについても是非検討されることをお勧めします。

(耐震診断用ソフトの出力結果の添付に代える)

(様式6-1 結果修正表)

必要耐力・保有耐力(診断時)	地域係数Z= 1.0
-----------------------	------------

必要耐力(精算法)								
階	面積 (㎡)	必要耐力 (kN/㎡)	QK 1 (kN/㎡)	QK 2 (kN/㎡)	QK 3 (kN/㎡)	QK 4 (kN/㎡)	QK 5 (kN/㎡)	必要耐力 (kN/㎡)
1階		0.64						0.64

階	床面積 (㎡)	基本耐力 (kN/㎡)	積雪必要耐力 (kN/㎡)	地域係数 Z	軟弱地盤 割増係数	形状 割増係数	1階非木造 割増係数	必要耐力 Qr (kN)
1階	0.00	0.64	0.00	1.00	1.00	1.000	1.000	0.00

上部構造評点								
階	方向	壁の耐力 Qw (kN)	その他の耐力 Qe (kN)	配置低減係数 eKfl	劣化度 d K	保有耐力 edQu	必要耐力 Qr (kN)	上部構造 評点
X方向	1階					0.00	0.00	#DIV/0!
Y方向	1階					0.00	0.00	#DIV/0!

上部構造評点	評点
1.5以上	倒壊しない
1.0以上~1.5未満	一応倒壊しない
0.7以上~1.0未満	倒壊する可能性がある
0.7未満	倒壊する可能性が高い

(様式7 耐震補強計画報告書)

耐震補強計画報告書

物件名： 様邸耐震補強計画

作成年月日：令和 年 月 日

建築士事務所名：

代表者氏名：

担当者氏名：

① 耐震補強計画建築物概要

建物名称	様邸耐震補強計画				
所在地					
工法・階数	<input type="checkbox"/> 在来軸組工法 <input type="checkbox"/> その他() ()階建て				
竣工年次	西暦	0年	和暦		
耐震性能目標値	<input type="checkbox"/> 1.5 <input type="checkbox"/> 1.0 <input type="checkbox"/> 0.7				
地域係数(Z)	<input type="checkbox"/> 1.0 <input type="checkbox"/> 0.9 <input type="checkbox"/> 0.8 <input type="checkbox"/> 0.7	軟弱地盤	<input type="checkbox"/> 1.5 <input type="checkbox"/> 1.0		
積雪	積雪深さ	m			
	補強前		補強後		
床面積					
2階	m ²	m ²	m ²		
1階	m ²	m ²	m ²		
合計	m ²		m ²		
形状割増係数	短辺長さ m	形状割増係数	短辺長さ m	形状割増係数	
仕上・構造					
屋根仕様					
外壁仕様					
内壁仕様					
	<input type="checkbox"/> 軽い建物 <input type="checkbox"/> 重い建物 <input type="checkbox"/> 非常に重い建物 <input type="checkbox"/> 軽い建物 <input type="checkbox"/> 重い建物 <input type="checkbox"/> 非常に重い建物				
床仕様			<input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III		
基礎形式			<input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III		
主な柱の径	通柱 mm 管柱 mm <input type="checkbox"/> 120mm以上	通柱 mm 管柱 mm <input type="checkbox"/> 120mm以上			

(様式7 耐震補強計画報告書)

耐震補強計画報告書

物件名 邸耐震補強計画

耐震補強設計年月日 平成 年 月 日

建築士事務所名

代表者氏名

印

耐震補強設計者氏名

印

① 耐震補強計画建築物概要

建物名称	邸耐震補強計画				
所在地					
工法・階数	<input type="checkbox"/> 在来軸組工法 <input type="checkbox"/> 伝統構法 <input type="checkbox"/> 枠組壁工法 ()階建て				
竣工年次	西暦	年	和暦	昭和	年
耐震性能目標値	<input type="checkbox"/> 1.5 <input type="checkbox"/> 1.0 <input type="checkbox"/> 0.7				
地域係数(Z)	<input type="checkbox"/> 1.0 <input type="checkbox"/> 0.9 <input type="checkbox"/> 0.8 <input type="checkbox"/> 0.7	軟弱地盤	<input type="checkbox"/> 1.5 <input type="checkbox"/> 1.0		
積雪	積雪深さ	m			
	補強前		補強後		
床面積					
2階	m ²	m ²	m ²		
1階	m ²	m ²	m ²		
合計	m ²		m ²		
形状割増係数	1階 短辺長さ m	形状割増係数	1階 短辺長さ m	形状割増係数	
仕上・構造					
屋根仕様					
外壁仕様					
内壁仕様					
	<input type="checkbox"/> 軽い建物 <input type="checkbox"/> 重い建物 <input type="checkbox"/> 非常に重い建物 <input type="checkbox"/> 軽い建物 <input type="checkbox"/> 重い建物 <input type="checkbox"/> 非常に重い建物				
床仕様	畳敷き・合板貼り	<input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III	畳敷き・合板貼り	<input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III	
基礎形式	鉄筋コンクリート布基礎	<input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III	鉄筋コンクリート布基礎	<input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III	
主な柱の径	通柱 mm 管柱 mm <input type="checkbox"/> 120mm以上	通柱 mm 管柱 mm <input type="checkbox"/> 120mm以上	通柱 mm 管柱 mm <input type="checkbox"/> 120mm以上		

② 耐震補強計画の結果

i 補強方法(補強する要素を全てチェックする。)

耐力要素の補強 <input type="checkbox"/> 筋かいの部材を太くする <input type="checkbox"/> 筋かい端部を金物で補強する <input type="checkbox"/> 面材による壁の補強 <input type="checkbox"/> 劣化部分の補修	小屋組の補強 <input type="checkbox"/> 梁の補強・小屋筋かい等 <input type="checkbox"/> 屋根の形状を変える
耐力要素の増設 <input type="checkbox"/> 筋かいを増設する <input type="checkbox"/> 面材による壁を増設する	基礎の改良 <input type="checkbox"/> 基礎の割れを直す <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート基礎にする
耐力要素の配置 <input type="checkbox"/> 壁をバランス良く配置する <input type="checkbox"/> 増改築で平面のバランスを整える	新技術の採用 <input type="checkbox"/> ダンパーの取り付け <input type="checkbox"/> 補強フレームの取り付け <input type="checkbox"/> その他
水平構面の補強 <input type="checkbox"/> 火打ちを取り付ける <input type="checkbox"/> 床を合板等で補強する	重量の軽減 <input type="checkbox"/> 建物重量を軽減する
	その他

ii 上部構造の耐震補強計画結果比較表

階	方向	補強前					補強後						
		壁・柱の耐力 Qu (kN)	配置低減係数 eKf	劣化度 d K	保有する耐力 edQu (kN)	必要耐力 Qr (kN)	上部構造 評点	壁・柱の耐力 Qu (kN)	配置低減係数 eKf	劣化度 d K	保有する耐力 edQu (kN)	必要耐力 Qr (kN)	上部構造 評点
3	X												
	Y												
2	X												
	Y												
1	X												
	Y												

iii 上部構造判定基準

上部構造評点	耐震性の判断
1.5以上	倒壊しない
1.0以上~1.5未満	一応倒壊しない
0.7以上~1.0未満	倒壊する可能性がある
0.7未満	倒壊する可能性が高い

iv 総合所見

② 耐震補強計画の結果

i 補強方法(補強する要素を全てチェックする。)

耐力要素の補強 <input type="checkbox"/> 筋かいの部材を太く <input type="checkbox"/> 筋かい端部を金物補強 <input type="checkbox"/> 面材による壁補強 <input type="checkbox"/> 劣化部分の補修	小屋組の補強 <input type="checkbox"/> 梁の補強・小屋筋かい等 <input type="checkbox"/> 屋根の形状を変える
耐力要素の増設 <input type="checkbox"/> 筋かいを増設 <input type="checkbox"/> 面材による壁を増設	基礎の改良 <input type="checkbox"/> 基礎の割れを直す <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート基礎にする
耐力要素の配置 <input type="checkbox"/> 壁をバランス良く配置する <input type="checkbox"/> 増改築で平面のバランスを整える	新技術の採用 <input type="checkbox"/> ダンパーの取り付け <input type="checkbox"/> 補強フレームの取り付け <input type="checkbox"/> その他
水平構面の補強 <input type="checkbox"/> 火打ちを取り付ける <input type="checkbox"/> 床を合板等で補強する	重量の軽減 <input type="checkbox"/> 建物重量を軽減する
	その他

ii 上部構造の耐震補強計画結果比較表

階	方向	補強前					補強後						
		壁・柱の耐力 Qu (kN)	配置低減係数 eKf	劣化度 d K	保有する耐力 edQu (kN)	必要耐力 Qr (kN)	上部構造 評点	壁・柱の耐力 Qu (kN)	配置低減係数 eKf	劣化度 d K	保有する耐力 edQu (kN)	必要耐力 Qr (kN)	上部構造 評点
3	X												
	Y												
2	X												
	Y												
1	X												
	Y												

iii 上部構造判定基準

上部構造評点	耐震性の判断
1.5以上	倒壊しない
1.0以上~1.5未満	一応倒壊しない
0.7以上~1.0未満	倒壊する可能性がある
0.7未満	倒壊する可能性が高い

iv 総合所見

v 概算工事費(この費用に設計・監理料や諸雑費は含みません。)

工事内容	工事費概算 (円)	想定工期(日)	備考
耐震壁設置費(補給壁W900)10箇所			
基礎部改修費(補給壁W900)8箇所			
基礎劣化部改修費			
仮設、諸経費 他			
消費税			
合計			

(様式7～統合)

(様式8 部分的な耐震補強に関する報告書)

部分的な耐震補強に関する報告書

物件名 邸耐震補強計画

耐震補強設計年月日 平成 年 月 日

建築士事務所名

代表者氏名 印

耐震補強設計者氏名 印

① 耐震補強計画建築物概要

建物名称	邸耐震補強計画			
所在地				
工法・階数	<input type="checkbox"/> 在来軸組工法 <input type="checkbox"/> 伝統構法 <input type="checkbox"/> 枠組壁工法 ()階建て			
竣工年次	西暦	年	和暦	年
耐震性能目標値	<input type="checkbox"/> 1.5 <input type="checkbox"/> 1.0 <input type="checkbox"/> 0.7			
地域係数(Z)	<input type="checkbox"/> 1.0 <input type="checkbox"/> 0.9 <input type="checkbox"/> 0.8 <input type="checkbox"/> 0.7	軟弱地盤	<input type="checkbox"/> 1.5 <input type="checkbox"/> 1.0	
積雪	積雪深さ	m		
	補強前	補強後		
床面積				
	2階	m ²		m ²
	1階	m ²		m ²
	合計	m ²		m ²
形状割増係数	1階 短辺長さ m	形状割増係数	1階 短辺長さ m	形状割増係数
仕上・構造				
屋根仕様				
外壁仕様				
内壁仕様				
	<input type="checkbox"/> 軽い建物 <input type="checkbox"/> 重い建物 <input type="checkbox"/> 非常に重い建物 <input type="checkbox"/> 軽い建物 <input type="checkbox"/> 重い建物 <input type="checkbox"/> 非常に重い建物			
床仕様	畳敷き・合板貼り	<input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III	畳敷き・合板貼り	<input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III
基礎形式	鉄筋コンクリート布基礎	<input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III	鉄筋コンクリート布基礎	<input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III
主な柱の径	通柱 mm 管柱 mm <input type="checkbox"/> 120mm以上	通柱 mm 管柱 mm <input type="checkbox"/> 120mm以上		

(様式6-2 結果修正表)

必要耐力・保有耐力(補強時)	地域係数Z= 1.0
-----------------------	------------

必要耐力(精算法)								
階	面積 (㎡)	必要耐力 (kN/㎡)	QK 1 (kN/㎡)	QK 2 (kN/㎡)	QK 3 (kN/㎡)	QK 4 (kN/㎡)	QK 5 (kN/㎡)	必要耐力 (kN/㎡)
1階		0.64						0.64

階	床面積 (㎡)	基本耐力 (kN/㎡)	積雪必要耐力 (kN/㎡)	地域係数 Z	軟弱地盤 割増係数	形状 割増係数	1階非木造 割増係数	必要耐力 Qr (kN)
1階	0.00	0.64	0.00	1.00	1.00	1.000	1.000	0.00

上部構造評点								
階	方向	壁の耐力 Qw (kN)	その他の耐力 Qe (kN)	配置低減係数 eKfl	劣化度 d K	保有耐力 edQu	必要耐力 Qr (kN)	上部構造 評点
X方向	1階					0.00	0.00	#DIV/0!
Y方向	1階					0.00	0.00	#DIV/0!

上部構造評点	評点
1.5以上	倒壊しない
1.0以上～1.5未満	一応倒壊しない
0.7以上～1.0未満	倒壊する可能性がある
0.7未満	倒壊する可能性が高い

「福島県木造住宅耐震化支援事業」部分耐震改修工事に係る技術基準（平成22年5月10日）新旧対照表

改正案	現行
<p style="text-align: center;">「福島県木造住宅等耐震化支援事業」 部分耐震改修工事に係る技術基準</p> <p>第1条～第3条 （省略）</p> <p>（部分評点の計算方法）</p> <p>第4条 部分評点の計算方法は、以下のとおりとする。</p> <p>一 主たる居室を構成する壁構面において囲まれた区画の各方向について、その区画部分の床面積を対象として必要耐力及び保有する耐力、並びに次の式により部分評点を算出し、その最小値を当該主たる居室の部分評点とする。ただし、連続した複数の室で主たる居室とする場合は、これら複数の室を一として前段の規定を適用する。</p> <p style="padding-left: 2em;">部分評点 = $\frac{\text{保有する耐力}}{\text{必要耐力}}$</p> <p>二 必要耐力及び保有する耐力の算定は、一般診断法の必要耐力及び保有する耐力の算定における「各階」を「主たる居室」と読み替えて適用する。</p> <p>三 前号の保有する耐力を算定する場合には、劣化低減係数（D）は1.0とする。ただし、当該構面を構成する既存の壁（耐力を算定するものに限る。）、柱、梁、土台等の構造部材に、劣化がある場合は、必要な補修を行うこととする。</p> <p>四 部分評点の計算は、以下の流れに沿って、別添『部分評点計算シート』により行うこととする。なお、コンピュータ耐震診断用ソフトによる出力と重複する箇所等は出力結果で代用できる。</p> <p>i 部分評点を計算する主たる居室を設定する。</p> <p>ii 主たる居室の面積、耐震診断の条件から、主たる居室の『部分必</p>	<p style="text-align: center;">「福島県木造住宅等耐震化支援事業」 部分耐震改修工事に係る技術基準</p> <p>第1条～第3条 （省略）</p> <p>（部分評点の計算方法）</p> <p>第4条 部分評点の計算方法は、以下のとおりとする。</p> <p>一 主たる居室を構成する壁構面において囲まれた区画の各方向について、その区画部分の床面積を対象として必要耐力及び保有する耐力、並びに次の式により部分評点を算出し、その最小値を当該主たる居室の部分評点とする。ただし、連続した複数の室で主たる居室とする場合は、これら複数の室を一として前段の規定を適用する。</p> <p style="padding-left: 2em;">部分評点 = $\frac{\text{必要耐力}}{\text{保有する耐力}}$</p> <p>二 必要耐力及び保有する耐力の算定は、一般診断法の必要耐力及び保有する耐力の算定における「各階」を「主たる居室」と読み替えて適用する。</p> <p>三 前号の保有する耐力を算定する場合には、劣化低減係数（D）は1.0とする。ただし、当該構面を構成する既存の壁（耐力を算定するものに限る。）、柱、梁、土台等の構造部材に、劣化がある場合は、必要な補修を行うこととする。</p> <p>四 部分評点の計算は、以下の流れに沿って、別添『部分評点計算シート』により行うこととする。</p> <p>i 部分評点を計算する主たる居室を設定する。</p> <p>ii 主たる居室の面積、耐震診断の条件から、主たる居室の『部分必</p>

<p>要耐力』を算出する。</p> <p>iii 特定居室の壁要素（既存壁及び改修壁）の仕様から『部分保有耐力』を算出する。</p> <p>iv 部分評点を算出する。</p> <p>五 精密診断法 1 による計算方法及び診断表は、日本建築防災協会が発行する「木造住宅の耐震診断と補強方法」による。</p> <p>（適用範囲）</p> <p>第 5 条 この基準は、福島県内に存する耐震診断の適用が可能な既存の木造住宅において、適用する。</p> <p>（その他）</p> <p>第 6 条 その他必要な事項は、別途定めるものとする。</p> <p>附 則</p> <p>この基準は、平成 25 年 4 月 1 日より適用する。</p> <p>附 則</p> <p>この基準は、令和 3 年 4 月 1 日より適用する。</p> <p>附 則</p> <p>この基準は、令和 4 年 8 月 30 日より適用する。</p>	<p>要耐力』を算出する。</p> <p>iii 特定居室の壁要素（既存壁及び改修壁）の仕様から『部分保有耐力』を算出する。</p> <p>iv 部分評点を算出する。</p> <p>（適用範囲）</p> <p>第 5 条 この基準は、福島県内に存する耐震診断の適用が可能な既存の木造住宅において、適用する。</p> <p>（その他）</p> <p>第 6 条 その他必要な事項は、別途定めるものとする。</p> <p>附 則</p> <p>この基準は、平成 25 年 4 月 1 日より適用する。</p> <p>附 則</p> <p>この基準は、令和 3 年 4 月 1 日より適用する。</p>
--	--

「部分的な耐震改修に係る技術基準」に基づく
『部分評点』の計算方法

(計算の概要)

特定居室を構成する壁構面において囲まれた範囲を対象として、その部分の面積に応じた地震に対する必要耐力及び、保有耐力を算出し、当該範囲における X 方向及び Y 方向における部分評点を算出する。

(計算の条件)

1. 必要耐力の算定は、耐震診断における一般診断法（精算法）に準じて行う。
2. 耐震補強を行う構面の保有耐力の算定は、劣化低減係数 (D) を 1.0 とする。
※ この際、当該構面を構成する既存の柱、梁、土台等の構造部材に、劣化がある場合は、必要な補修を行うこととする。
3. 精密診断法 1 による算定は、日本建築防災協会が発行する「木造住宅の耐震診断と補強方法」による。

(計算の実施)

別添、『部分評点計算シート』による

※ コンピュータ耐震診断用ソフトによる出力と重複する箇所等は出力結果で代用できる。

(計算の流れ)

1. 部分評点を計算する特定居室を設定する。
2. 特定居室の面積、耐震診断条件から、特定居室の『部分必要耐力』

「部分的な耐震改修に係る技術基準」に基づく
『部分評点』の計算方法

(計算の概要)

特定居室を構成する壁構面において囲まれた範囲を対象として、その部分の面積に応じた地震に対する必要耐力及び、保有耐力を算出し、当該範囲における X 方向及び Y 方向における部分評点を算出する。

(計算の条件)

1. 必要耐力の算定は、耐震診断における一般診断法（精算法）に準じて行う。
2. 耐震補強を行う構面の保有耐力の算定は、劣化低減係数 (D) を 1.0 とする。
※この際、当該構面を構成する既存の柱、梁、土台等の構造部材に、劣化がある場合は、必要な補修を行うこととする。

(計算の実施)

別添、『部分評点計算シート』による

(計算の流れ)

1. 部分評点を計算する特定居室を設定する。
2. 特定居室の面積、耐震診断条件から、特定居室の『部分必要耐力』

を算出する。

3. 特定居室の壁要素（既存壁及び改修壁）の仕様から『部分保有耐力』を算出する。

4. 部分評点を算出する。

$$\text{部分評点} = \text{『部分保有耐力』} / \text{『部分必要耐力』}$$

(判定)

部分的耐震性能に必要な条件

$$\text{部分評点} \geq 1.5$$

を算出する。

3. 特定居室の壁要素（既存壁及び改修壁）の仕様から『部分保有耐力』を算出する。

4. 部分評点を算出する。

$$\text{部分評点} = \text{『部分保有耐力』} / \text{『部分必要耐力』}$$

(判定)

部分的耐震性能に必要な条件

$$\text{部分評点} \geq 1.5$$